



公務災害

鉄パイプの頭部への落下事故について

氏名 ○○ ○○ (職員、調理員) 年齢 30歳台、女、勤続年数 10年

日時 9月○日 午前11時頃

発生場所 ○○市立○○学校給食センター

傷病及び程度 外傷性頸部症候群、歯の破折、休業災害 (療養及び治療継続中)

状況

調理作業に使用した足の消毒マット及び前掛けを被災者1人で洗浄消毒し、頭上のビニール紐で吊るされた鉄パイプの水道管 (鉄パイプの高さは約180センチ、被災者の身長は約150センチ) に干し終わったところ、突然、鉄パイプを吊るした頭上のビニール紐が断裂し、鉄パイプが頭部を直撃した。本人は、意識を喪失、まもなく救急車で○○病院に搬送され、レントゲン検査、CT検査と手当を受け、帰宅するも、その後体調不良が出現し、病状は長期間に渡って増悪を繰り返し、現在も改善していない。

直撃した鉄パイプ、マットの総重量は約20キロと推定された。鉄パイプを吊るしていた紐は、長い期間使われて摩耗、劣化していた。

今(平成 年月)は針金になっているが、事故当時はビニールひも。
 ↓ 水を含んだマットは事故時は3枚かけてあった。

